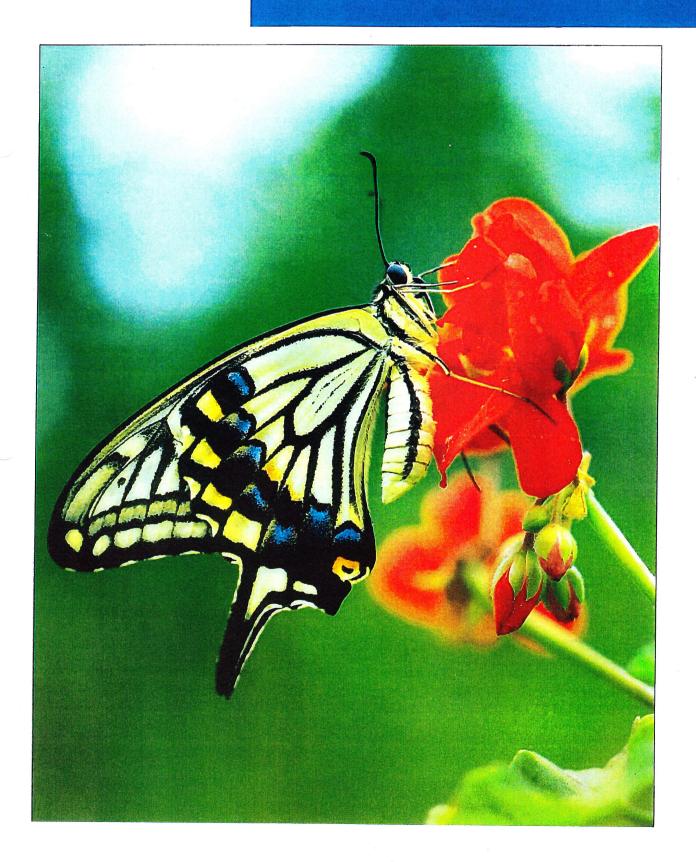


粉 体 塗 料 アローリ (**) - (





粉体塗料は、1950年代に西ドイツで初めて工業化されたのが 始まりと言われています。以来40年程度の間にその安全性が認 められて急速に成長してきました。

一般の溶剤塗料等は、塗膜形成時に多量の有機溶剤などを発 散し、大気汚染や火災、中毒の原因になります。

こうした自然破壊の要因を取り除き、自然との調和を求めた のが粉体塗料です。粉体塗料は、溶剤を全く含まない粉末状の 樹脂で、加熱溶融するだけで美しい色彩の塗膜が得られます。

粉体塗料は回収再使用ができるのでとても経済的です。また、 取扱いも容易で作業環境の改善に寄与します。

粉体塗料は自然環境を汚すことのないクリーンで、経済的な 塗料です。



アロンパウダーは、高性能、高効率、省エネルギー、無公害、 経済的な塗料という5つをテーマとし、これを限り無く追及し た粉体塗料です。

アロンパウダーは、厳選された高性能樹脂を使用し、当社独 自の総合技術力をもとに品質設計を行っておりますので、他に はない卓越した高性能を発揮します。

アロンパウダーは、塗装作業性が最良になるように設計して

あるため、複雑な形状の被塗物でも比較的均一に、しかも容易 に塗装することができる塗料です。

アロンパウダーは、ご要望に応じ薄膜用、厚膜用、低温焼付用、短時間焼付用、後加工用PCM塗料など数多くのグレードを取揃えております。必ずご要望に合った塗料を選択していただけます。

アロコノピコターは巾広い分野で使用されています

水道管部品

水道管、異形管、分水栓、仕切弁、ニップル、 水栓金具、サドルバンドなど



自動車部品

アルミホイール、ワイバー、コイルスプリング、 ドライブシャフト、スキーキャリア、 オイルフィルター、シートベルト金具など



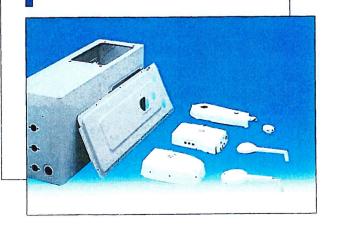
電子部品

モーターコア、コンデンサー、トランス、 トロイダルコアなど



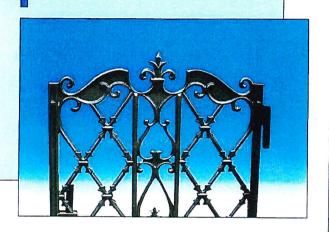
電気機器

配電盤、分電盤、開閉機、モーター部品、 メーターカバーなど



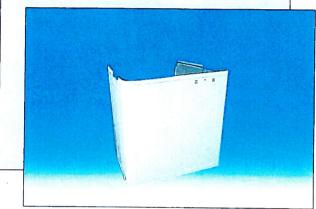
建材

門扉、バルコニー、フェンス、ガードレール、 鉄筋、手摺、物置、内外装パネル、プレハブ鉄骨、 シャッター、ドア、雨樋受金具、道路標識、 各種ボール(標識用、カーブミラー用、信号用等)など



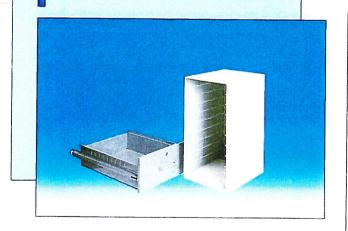
家庭用品

洗濯機、冷蔵庫、エアコン、レンジ、バイプ家具、 照明器具、台所用品、ガス湯沸器など



事務機器

椅子、机、本棚、キャビネット、バーテーションなど



その他

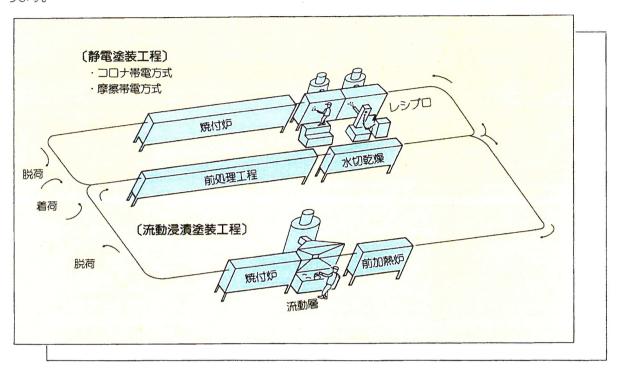
消火器、医療機器、ガラスピン、キーホルダー、 ボンベ、ドラム缶、ベッドなど



アロコリピウターの塗装は?

アロンパウダーには、静電塗装用塗料と流動浸漬塗装用塗料があります。下図に代表的な静電塗装設備と流動浸漬塗装設備の一例を示しました。又、PCM 鋼板、モーターコア等は専用の塗装設備で塗装されております。

東亞合成では、近年脚光を集めております摩擦帯電ガン(トリボガン)で塗装可能な塗料を、アクリル樹脂系他各樹脂系で準備しております。詳細はトリボガン用塗料の技術資料をご参照ください。



アロンパウダーの5つのメリット

アロンパウダーは、溶剤成分を全く含まないため大 気汚染や中毒の心配がありません。さらに、自動塗装 が容易ですので、従来の溶剤塗装のように熟練作業者 を必要としません。

アロンパウダーは、ワンコートで薄膜塗装から厚膜

塗装 (30~150μ) が可能であり、さらに回収塗料の再使用ができるので全く無駄がありません。

アロンパウダーは、5つのメリットを提供する優れた塗料なのです。



アロコパウダーの塗装にあたって

前処理は……

1. 塗膜性能を十分発揮するために、被塗物の前処理 (脱脂、化成被膜処理)をお奨めします。

塗装は……

- 2. 静電塗装では通常-50~-90kVの荷電圧でご使用 ください。流動浸漬塗装では被塗物の形状、熱容 量、要求膜厚などにより前加熱温度を適時設定し てください。(本カタログに記載した各種条件等は、 当社での試験結果です。ご注意ください。)
- 3. 回収塗料粉はふるい分けを行って、異物、ごみなどを取り除いた後、新粉と適量混合してご使用ください。

焼付は……

- 4. 標準焼付条件をお守りください。塗膜性能の低下 の原因になります。
- 5. 溶剤系塗料に比べ着火の危険はほとんどありませんが、可燃物ですので塗装室周辺での喫煙、火気のご使用は避けてください。

保管は……

6. 品質低下を防ぐため、湿気を避け冷暗所で、所定 の保管条件をお守りください。保証期間は6ヶ月 です。

取扱い上の注意

- *アロンパウダーは危険物ではありませんが、可燃性 の合成樹脂粉末であるため、爆発下限濃度(30~50 B/m)以上において、火気や電気スパーク等の着火 源がある場合、粉塵燃焼を起こす可能性があります。 従って、以下の対策などにより安全管理を行ってく ださい。
 - ·着火源の徹底排除

作業場の火気厳禁、スイッチ、電気機器の防爆 対応等を実施するとともに、スパーク発生(金属物の接触等)がないようにご留意ください。

・接地(アース)による安全対策

塗装ブース、回収装置、ダクト、粉体塗料タンク等、塗装関連設備の導電体の機器類は総て確実にアースを実施するようにしてください。

・火災報知器と消火設備の設置

必要に応じて、炎検出器、着火検出器、スプ リンクラー等の消火設備を設置してください。

・回収装置の風量調整

ブース排気濃度を爆発下限界濃度の1/3以下

になるように、粉塵吸引風量を調整してくだ さい。

- *粉体塗料自体には、安全衛生上、特に問題となる重金属類、毒物等は含まれていませんが、一般粉塵と同様に、取扱い時には必ず防塵マスクを着用し、粉を吸入しないようにしてください。誤って、大量の粉を吸入した場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- * 取扱い時には保護眼鏡の着用をお願いします。作業終了時及び休憩時等には必ずうがい、手洗いを励行してください。また身体に付着した場合は、極力速やかにエアブロー等で除去し、水洗してください。
- * 貯蔵、保管の際は水漏れ、湿気を避け、冷暗所に保管してください。所定温度(製品箱に表示)以上での貯蔵、保管は品質低下の原因となりますので絶対に置かないでください。
- *他種塗料の混入がないようご注意ください。仕上がり不良等の不具合の原因となります。

荷姿

15kg入りダンボール箱

東亞合成では

総合化学メーカーとしていち早く粉体塗料に注目し、研究開発を重ねてまいりました。その総合技術の結晶であるアロンパウダーを自信をもってお奨めします。アロンパウダーに関する詳しい技術資料は別途用意いたしておりますので、是非ご請求の上ご検討ください。

東亞合成では、表面処理のシステムパートナーとして、アクリルクリヤー塗装(TFSシステム)、薄膜防 鋳塗料(Kコート)、紫外線硬化塗料(UV塗料)、脱 脂剤(トリクレン®)、水系洗浄剤(アクアゾル®)など も取揃えておりますので、お気軽にご相談ください。